

緑の地球

GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



GENの新しい協力地の河北省張家口市蔚県柏樹郷の永寧山。来春ここにアブラマツを植樹する

Contents

- 2016年9月大同ツアー、自然と親しむ会報告… P 2～3
- ボーナスカンパのお願い …………… P 3
- 張家口市蔚県で緑化活動を始めます …………… P 4～5
- 運営懇談会にご参加ください …………… P 6

2016.11
172

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク

張家口市蔚県で新プロジェクト開始

来春ツアーは4月8日（土）～13日（木）

緑の地球ネットワークはこれまで山西省大同市で5,920haほどの面積に1887万本余りの木を植えることに協力してきました。その成果はこれまで折にふれて紹介してきたとおりですが、量的に最も大きな成果は自分たちであげたものではなく、国家級の大規模な緑化プロジェクトをいくつも呼び込んだことかもしれません。25年の間に大同は見違えるほどに緑化がすすみ、GENが新しく植える場所をみつけるのが困難なまでに became.

これまでの経験を生かせる新しいプロジェクト地を今年から本格的に探しはじめ、河北省張家口市が候補にありました。最初のプロジェクト地に決定した蔚県は、大同市広靈県に隣接し

気候や自然条件もあまり変わりません。カウンターパートとなる共青团は新しい事業にとっても張り切っています。

これまでは大同市の7県4区がフィールドでしたが、張家口市ではまず蔚県というひとつの県から協力をはじめます。蔚県県城の旧市街は、10年ほど前の大同を思わせるのんびりした空気が漂っています。プロジェクト地の柏樹郷永寧寨村^{はくじゅうえいねいざいむら}ものどかな村です。多くの方々に楽しんでいただけたと思います。

来春のツアーは、4月8日（土）～13日（木）を予定しています。まだ確定ではなく



変更の可能性があります。詳しくは次号でご案内します。

永寧寨村での植樹はもちろん、蔚県の名所をいくつか訪ねますので楽しみに。最近春のツアーは申込みが少なく催行できないことがあるのですが、来春は人数が少なくても実施しますので、安心してお申し込みください。

目の前に広がる緑、自然の尊さを実感

2016年9月にイオンリテールワーカーズユニオン（23名）と大阪市RR厚生会（5名）が大同を訪問しました。参加者の報告をご紹介します。

小さな積み重ねが森をつくる

阿部 大地さん
（イオンリテールワーカーズユニオン）

「靠着山呀、没柴烧、十箇年頭、九年早、一年涝」

高見先生から聞いた、中国大同に古くからある民謡の一節です。「山は近くにあるけれど、煮炊きに使う柴はなし。十の年を重ねれば、九年は早（ひでり）で一年は大水」という、大同の自然・生活環境の厳しさを的確に表現していると先生はおっしゃいました。



活動中、高見先生より、植樹活動は植えるよりも準備・維持に手間がかかるとお聞きしました。植えた苗を育てた人の苦勞、維持管理する人の苦勞を考えると想像以上のものがあるのだろうと植樹・視察の中で感じました。しかし、目の前に広がる森がそんな多くの人々のバトンパスから生まれたのだと思うと、ひとつひとつの行動、

小さな積み重ねの大切さに心響くものがありました。

普段、日本で生活する中ではなかなか感じない自然の尊さを中国大同で感じることができたと思います。中国大同では多くの人が大切に育てている自然が、日本で当たり前^{あたりまえ}の存在でいいのでしょうか。植樹、ボランティアという直接的な活動はもちろん、まずは日常の自然に目を向ける。そんな私の小さな積み重ねはいつかどんな「森」になるのだろうか。

「環境にとっての人間問題」に国境はない

田中 清文さん
（大阪市RR厚生会）

9月5日から9日にかけて大阪市RR厚生会は認定NPO法人緑の地球ネットワークによる黄土高原緑化事業に参加してきました。

緑化事業に参加した5人は、不毛の大地であった黄土高原において、大きく広がる森林に圧倒されるとともに、25年の歳月をかけて植林を続けてきたGENの取り組みについて、あらためて偉業であることを再認識しました。



また、緑化事業が、水土流失による砂漠化を防ぎ「防護林」としての役割を発揮し、作物や植物が育つ肥沃な大地に変え、大同市の市民にとっても生

活の糧となり、青く透き通る空へと導いていることを実感しました。

一方、大同市の年間の降水量は平均400mm、早ばつの年もある、非常に厳しくかつ不安定な気象条件の中での植林活動について、長期間にわたり継続した取り組みが必要です。

地球規模での環境破壊が進行しているなか、参加者一同は「環境にとっての人間問題」の解決にむけ、GENのみなさんが一生懸命緑化事業に取り組む姿に触れ、人と人とのつなが

報告

自然はすばらしい！キノコの世界

高原 喬二さん（大阪市）

10月16日、京都府八幡市の男山でGEN自然と親しむ会秋のキノコ観察会をおこない、17名が参加しました。

10月16日（日）午前10時に京阪電車「八幡市」駅に集合し、参加者は17名でした。

（株）環境総合テクノス 栗栖敏浩先生の丁寧な説明を受けながら「こもれびルート」を登りました。このところ晴天が続きキノコの発生が気になりましたが、赤白黄黒茶など色とりどりで形も様ざまな個性あふれるたくさんのキノコに出会うことが出来ました。自然は素晴らしいです。

キノコは木と共生したり、木や落ち葉を分解したり、昆虫に寄生したりするものがあると説明がありました。それぞれなくてはならない役割を持っていることを知りました。私はキノコにはあまり興味がありませんでしたが、形の奇妙なシロオニタケやスッポンタケが印象に残りました。同じようなキノコでも種類が多く驚きます。

昼食後八幡の真竹をフィラメントに使ったことを記念するエジソン記念碑を見て、今年2月に国宝に指定された石清水八幡宮をお参りし、「ひだまりコース」を野鳥の鳴き声を聞きながら下りました。

途中、京都全域を眺められる男山展望台では、観光ボランティアの方から比叡山と石清水八幡が御所の鬼門を守っていることや、山崎の戦などの説明がありました。

カンパのお願い

7月の寄付のお願いではたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。大同での植える活動は一区切りつき、いよいよ河北省張家口市蔚県でのプロジェクトが始まります。期待に胸を膨らませるいっぽう、寄付金収入は減少傾向にあり、GENの財政はとても厳しい状態です。今後の緑化協力を軌道に乗せるため、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

発送作業の都合上、郵便振替の用紙を一律に同封します。最近にご協力いただいた方には重ねてのお願いではありませんのでご了承いただきますようお願いいたします。

【GENへの寄付は税制上の優遇措置を受けられます】
GENは大阪市に認定された認定



りに国境はないと感じ「緑の地球環境センター」でのアブラマツの植林などを「体験」して「楽しむ」ことができました。

最後に、このような貴重な体験をさせていただいたGEN、大阪市RR厚生会、大阪市従業員労働組合のみなさんに感謝を申し上げます。



ノコの世界の面白さの一端を知り、いろいろ勉強になった観察会でした。

今回は「キノコの教え」（小川眞著 岩波新書）を読んで参加したいと思います。ありがとうございました。

NPO法人です（期限は2019年4月8日まで）。個人によるGENへの寄付は、税額控除あるいは所得控除を受けられます。対象となるのは2,000円を超える寄付金で、確定申告が必要です。

企業（法人）からの寄付金は一般寄付金の損金算入限度額とは別枠の損金算入限度額が認められています。

また、個人が相続または遺贈により取得した財産を、相続税の申告期限以前に認定NPOに寄付すると、相続税の課税対象から除外されます。

GENの場合、寄付金となるのは緑化基金、運営カンパ、おまかせカンパと会費のうち一口を超える部分、賛助会費から12,000円を引いた金額です。

また、大阪府民、大阪市民のかたには個人住民税の控除もあります。

くわしくはGENまでご連絡ください。



緑の地球ネットワークは 河北省張家口市蔚県で緑化活動を始めます

2017 年春から新たに河北省張家口市蔚県での緑化協力を開始することになりました。従来の山西省大同市と地続きの東隣りで、これまでの成果を見守るのにも便利なところです。



蔚県柏樹郷永寧寨村永寧山の植樹予定地。今後この地がどのように変化するかが楽しみ

■大同の東隣りの大きな県

蔚県は北京から西に 280km、張家口市の最南部にある歴史の長い県です。張家口市は 2022 年北京冬季オリンピックのノルディック競技会場に決まっており、全市をあげて環境改善と緑化に力が注がれています。

河北省北部の 4 つの県は黄土高原に属するという説のとおり、地形や気象条件なども大同とそっくりです。これまでに蓄積した経験や技術をそのまま緑化に活かすことができます。

全県の面積 3,220km²、人口 52 万人の大きな県で、地形は大きく 3 つに分かれます。

中央部は、壺流河に沿った東西に長い盆地で、標高は 900m 前後、県の面積の 30% を占めます。県城（県政府所在地）の蔚州鎮はじめ大きな町はここ

にあり、農業も盛んです。

南部は海拔 1500 ～ 2000m の山地で、県の面積の 35% を占めます。最高峰は小五台山（2882m）で、河北省でいちばん高く、自然保護区が設けられています。来春から植林を始める柏樹郷永寧寨村はその脚下にあります。

北部は海拔 1000 ～ 1500m の黄土丘陵で、県の面積の 35% を占めています。緯度は北緯 40 度に近く、標高も高いので、年間平均気温が 7℃ほどで、冷涼な気候です。

雨はとくに盆地部分で少なく、年間降水量の平均が 450mm 前後です。南部の山地がいちばん多く、北部の丘陵地がそれにつづきます。

季節的な偏りも大きく、6 月中旬からの 3 か月に年間の 4 分の 3 が集中し、農耕にとってもっとも必要な 4 ～ 5 月

に少ないのが悩みです。

■歴史が長く起伏に富む

すぐ北の陽原県には旧石器時代初期の泥河湾遺跡があり、大量の石器や動物の骨など生活のあとが発掘されていますが、同じ時代の遺跡が蔚県にもあり、規模はこちらのほうが大きいそう。

早くも商（殷）代には台国が置かれていましたが、わずかの遺跡が残るだけ。遊牧民族が燕雲十六州を奪った遼・金の時代はそこに属し、明代からは蔚州となり、中華民国時代に蔚県になりました。

蔚州の時代の建造物はたくさん残っています。県城の西北部にある蔚州古城は、他の城壁の多くが方形であるのに、ここはそうではありません。壺流河を自然の堀として利用し、それに沿って城壁を築いたためです。北と西は城

壁がありますが、南と東は現存しないところもあります。城壁の内部は 1.6km² だそうで、そう広くはありません。

城壁の北辺には門がなく、物見の靖辺樓が建てられていましたが、時代が下ると道教の神廟になり、名も玉皇閣と変わりました。国家重点文物に指定され、観光資源となっています。そのほかに南安寺塔、華嚴寺、釈迦寺など多くの寺廟があり、古建築の博物館と呼ばれるほどだそう。

県城から西に 10km の暖泉鎮は古い堡壘が有名で、香川照之が出演した中国映画「鬼が来た！」（姜文監督・主演、2000 年カンヌ国際映画祭審査員特別グランプリ）の第 1 ロケ地にもなり、多くの観光客を引きつけています。また高温で溶かした鉄を壁にぶつけて花火のように楽しむ「打樹花」はここだけしかなく名物です。

蔚県の名物に剪纸（切り絵）があります。なんと 26,000 人、県の人口の 5%

が従事する一大産業なのです。

■自然の奇観も楽しめる

小五台山は自然保護区になっています。GEN 事務局の 2 人が 2009 年夏に訪れましたが、緑と水に恵まれたきれいなところで、色鮮やかな高山植物もたくさんあり、リスなどの小動物と小鳥の鳴き声が楽しめました。山火事防止のため 5 月 1 日までは入山が禁止されているようですが、夏のツアーは楽しめるでしょう。

飛狐峪と空中草原も観光地として有名です。飛狐峪は南の華北平原と北のモンゴルとを結ぶ長さ 20km に及ぶ溪谷で、幅は広いところで百数十 m、狭いところはわずか十数 m しかなく、両側は百 m 近い断崖絶壁。その奇観は日本では絶対に見られないものです。

空中草原は蔚県、涞源県、靈丘県にまたがる海拔 2100m 余り、森林限界に広がる草原で、たくさんの草花を楽しむことができます。

柏樹郷永寧寨村のプロジェクト

来春から植樹を開始するのは柏樹郷永寧寨村の背後にある永寧山です。柏樹郷は中央部の盆地と南部の山地とにまたがっており、人口が多いのは盆地ですが、面積の大半は山地にあります。

永寧寨村は盆地と山地との境目にあり、村の南側すぐのところから永寧山が広がります。

柏樹郷は 2015 年から永寧寨村の観光開発を計画し、環境改善のために緑化を開始しました。大部分はアブラマツ、

トショウなどを植えていますが、一部にはリンゴなどを植え、観光果樹園にする計画です。花壇、薬草園などの計画もあります。

私たちは果樹園の南側の斜面にアブラマツ（油松）を植える協力をします。3 年かけて 100ha を植える計画です。全体として北向きの日陰斜面にあたり、緑化には有利です。土地はやせていますが、マツはそのほうを好みます。信頼関係を深めるなかで、より広い協力

関係を築きたいと思います。

近年になって中国社会も経済的な余裕ができ、自然や環境への関心も高まってきました。そうしたなかで、農村部でエコツアーを楽しむ都会の人も増えています。柏樹郷は小五台山自然保護区の入り口に近く、緯度と標高が高いため、避暑と自然を楽しむ場所としてはもってこいです。蔚県全体に目を広げると観光資源はさらにたくさんあります。

永寧寨村は元代末期にはじまる歴史の長い村で、民家や寺などの古建築も残っています。村のなかに宿泊施設を建設し、条件のある農家では民泊も実施するそう。2017 年からは県も郷の計画に加わるそうで、それらが実現すれば、私たちのツアーも農村に宿泊することができるようになり、より魅力的なものになるでしょう。

この協力事業に日中民間緑化協力委員会資金の助成が決まりました。

■蔚県の読み方

「蔚」の字は日本の音読みは「イ」と「ウツ」、訓読みは「うち」「おとこよぎ」です。

中国読みは「wei」と「yu」があり、一般的には「wei」ですが、地名としては「yu」です。私たちは「いけん」と呼ぶことにします。



蔚県の北の城壁の上にある玉皇閣



両側に切り立った崖がそびえる飛狐峪は観光地として有名



山のふもとにある蔚県柏樹郷永寧寨村



大同市よりもだいぶ素朴な蔚県の旧市街

参加者募集

ご参加ください
運営懇談会

2009年に始まり、毎年行われている GEN の運営懇談会を今年もおこないます。これまで活発に意見を交換してきましたが、今年は新しく始まる蔚県でのプロジェクトから国内の活動までこの機会にみなさんと議論を交わしていきたいと思ひます。みなさまのご参加をおまちしています。

- 【大阪会場】
○日時：11月19日（土）13時30分～16時30分
○場所：弁天町 ORC（オーク）200 生涯学習センター（元大阪市立弁天町市民学習センター。ORC200 ビル7階。JR 環状線／地下鉄中央線「弁天町」駅より直通路あり。tel. 06-6577-1410）<http://www.kyoiku-shinko.jp/orc200/access/>
○参加費無料、事前申込み不要ですが、参加をご希望の方は GEN 事務所までご連絡ください（懇親会は申込み必要）。
○終了後、懇親会を予定しています。会費 4,000 円程度。参加ご希望の方は 11月16日（水）までに GEN 事務所へお申込みください。

参加者募集

GEN 自然と親しむ会

咲くやこの花館で世界の植物を楽しむ

鶴見緑地内にある咲くやこの花館は熱帯から極地圏までの約 2,600 種の植物を栽培展示している日本有数の総合植物園です。

館内には熱帯雨林植物室、熱帯花木室、サボテン・多肉植物室（乾燥地植物室）、高山植物室、外部庭園などがあり、世界の植物に出会うことができます。

今回は館長の久山敦さんに案内していただきながら見学します。ぜひお気軽にご参加ください。

- 日時：2017 年 1 月 28 日（土）10 時から 14 時ごろ
○場所：咲くやこの花館（大阪市鶴見区緑地公園 2-163 tel. 06-6912-

0055 地下鉄長堀鶴見緑地線「鶴見緑地駅」下車徒歩約 10 分）

○集合：10 時に鶴見緑地内の咲くやこの花館入口集合

○案内：久山敦さん（咲くやこの花館館長）

○持ち物：お弁当、飲み物、あれば植物図鑑、歩きやすい服装と靴。

○参加費：500 円（別途入館料 500 円、大阪市内居住の 65 歳以上のかた、中学生以下は入館料無料）

○定員：20 名

○参加申し込み：1 月 25 日（水）までに氏名、生年月日、連絡先を GEN までご連絡ください。

※雨天決行

本の紹介

『東アジア和解への道—歴史問題から地域安全保障へ』天児慧・李鍾元〔編〕／岩波書店／2,400 円＋税

領土問題、環境協力など東アジアのあらゆる分野の日中韓の識者たちが討議したシンポジウムの内容を書籍化しました。明日香壽川さん、高原明夫さんほか、今年大同を訪問した大塚健司

さんが執筆しています。

『中国古代環境史の研究』村松弘一著／汲古書店／12,000 円＋税

GEN 世話人で学習院大学教授の村松弘一さんが、博士論文「中国古代の環境と地域開発：関中平原と淮北平原を中心に」（学習院大学 2005 年）を中心とし、2015 年までに公表した研究論文を加え、再構成した 1 冊です。

【東京会場】

○日時：11月26日（土）15時～18時ごろ

○場所：立教大学池袋キャンパス 13 号館 1 階会議室（各線「池袋」駅西口徒歩約 7 分。4 号館に入り階段をおりて奥の 13 号館にうつります。わかりにくいのでご注意ください）

○参加費無料、事前申込み不要。

○終了後、懇親会を予定しています。会費 4,000 円程度（学生 2,000 円程度）

ONE WORLD FESTIVAL
for Youth
高校生のための
国際交流・国際協力 EXPO2016
に GEN が出展

高校生のための国際協力のお祭りワン・ワールド・フェスティバルが大阪で開催されます。その名のとおり、関西の高校生が主体となって国際協力について考えるイベントです。GEN は以前ワン・ワールド・フェスティバルに出展していましたが、ここ数年はお休みしていましたので、ひさびさのブース出展です。

当日お手伝いしていただけるかたを募集しています。高校生たちに GEN での緑化協力の活動を伝えたいかた、ボランティアで参加しませんか？ 参加いただけるかたは GEN までご連絡ください。

○日時：12月23日（金）10時～17時
○会場：大阪国際交流センター（大阪市天王寺区上本町 8-2-6 地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「上本町」駅より徒歩 8 分）

○入場料：無料

○主催：ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生のための国際交流・国際協力 EXPO2016 運営委員会、（公財）大阪国際交流センター、（特活）関西 NGO 協議会

○ワンワールドフェスティバル for Youth 事務局ホームページ：<http://owf-youth.com> Facebook：<https://www.facebook.com/OWFYouth>

黄土高原史話〈80〉

仏教都市の明と暗（中）

仏教都市洛陽を象徴する行事は、釈迦の誕生を祝うために、仏像を輦（像輦）や山車（像車）に載せて街なかを練り歩く「行像」というパレードだろう。

いうまでもなく釈迦の誕生日は 4 月 8 日だが、早くも 4 月 4 日は内城の西にある長秋寺でイベントが始まる。『洛陽伽藍記』（入矢義高訳）によって紹介しよう。

「四月四日の降誕会には、この像をかづぎ出して都を練る習わしで、魔除けの獅子が先き払いをつとめた。さらに刀を呑んだり、火を吐いたりなどする奇術が、そこらじゅうで縦横無尽に演ぜられ、竿登りや綱渡りなど、奇異の限りを尽くした変幻ぶりだった。」

山車に釈迦降誕の像をしつらえて都じゅうを練り歩くこのパレード。ひと休みするごとに、さまざまな奇術が演じられた。この場合、西域から来た幻人（奇術師・魔法使い）が演じたわけだが、こうした奇術自体はすでに漢代の画像石に描かれている。それはともかく、

「彼らの奇抜な術と異様な服は、都第一の見物であったから、像のお練りが止った場所では黒山の見物人で、人を踏みつけたり跳び越したりで、いつも死人が出るほどであった。」

もっとも、群衆が熱狂したのは、豪華な行像や刺激的なパフォーマンスばかりではないようだ。行像を拝めば罪人も許されるという御利益を信じたからでもあった。

内城の東南にある昭儀尼寺では、4 月 7 日、都随一の精妙さを誇った三尊仏を、行列を組んで外城のすぐ南、永寧寺と同じように華麗な高塔をもつ景明寺に運んだ。「その時の芸能や音曲の賑々しさは、長秋寺のそれに匹敵した。」

このころ役所に登録されていた仏像の数は 1000 体ほどだったが、「四月七日には都じゅうの仏像がみなこの寺（景明寺）にお練りをした」。もちろん、1000 余の仏像のすべてではなかったろ

谷口 義介（GEN 会員）

うが。

そして 8 日の当日になると、各仏像は外城正門の宣陽門から入って、メインストリート銅駝街を北に進み、内城正面の閤闔門の前で、皇帝による散華を受けた。

「その時、金色の花は日に照り映え、宝玉をちりばめた天蓋は雲に浮かび、旗さしものは林のように立ち並び、香の煙は霧のように立ちこめ、讃仏の楽の音は天地をどよめかせた。さまざまな軽業がめまぐるしく演ぜられ、どこも黒山の人だかりであった。高僧たちは錫杖を手にして一団となり、信者たちは花を捧げて群がった。」

このほか、外城東南の宗聖寺でも、「輝くばかりに光を放つ」仏像のお練りが行なわれ、そのとき演じられた軽業や芸能のすばらしさは長秋寺のそれに次いだ、と。そのため、「城東に住む男女がたくさんこの寺へ見物にやってきました。」

また、外城西側の



GEN 関東ランチ
例会のお知らせ

関東ランチの例会は事前申し込み不要、参加費無料、どなたでも参加できます。

○日程：12月23日（金）15時～17時
○場所：立教大学池袋キャンパス 5 号館 1 階の会議室

○内容：今年 1 年の活動と未来の展望、

河間寺でも、4 月 8 日に降誕会が催され、都の士女がたくさん訪れた。

1,367 という寺の数もさることながら、都大路を練り歩く行像パレードこそ、仏教都市洛陽の盛んなさまを表わすものではあるまいか。ちなみに、景明寺の豪華・盛大なパレードを見た西域僧は、「まさに仏国土である」と感嘆した、と。

新たに始まる張家口市での緑化プロジェクト、大きく飛躍のときを迎えつつある西伊豆プロジェクト、東北での活動など

終了後、18 時より忘年会をおこないます。場所は未定、会費は 4,000 ～ 5,000 円程度です。忘年会シーズンは予約が必要なため、12 月 11 日（日）までに上田 (ueda@rikkyo.ac.jp) までご連絡ください。



2017 年度 (第 15 期)
自然環境市民大学
参加者募集

1 年間、自然環境について総合的・体験的に学習できます。講座の一コマを受講できる「1 日体験」も受付けています。

○時期：2017 年 4 月 5 日～2018 年 3 月 7 日まで 39 回+特別講座 1 回 (原則水曜日開催)

○定員：30 名程度

○受講料：60,000 円

○講師：高田直俊氏 (大阪市立大学名誉教授) 伊藤孝美氏 (大阪府農業大学校講師) 佐藤治雄氏 (大阪府立大学名誉教授) ほか

○申込み方法：氏名、性別、年齢、住所、e-mail、電話、ファクス、携帯電話、保全協会の会員か否かを記入して郵送、ファクス、e-mail でお申込みください。

○主催・申込み先：(公社) 大阪自然環境保全協会 市民大学係 (〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-9-13 ハイム天神橋 202 号 tel. 06-6242-8720 fax. 06-6881-8103 e-mail: shimin@nature.or.jp URL: http://www.nature.or.jp)

* 当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。

* 当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月 15 日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

第 23 期
自然大学
参加者募集

自然との共生とは? 生物多様性とは? 生態系とは? 講座を通じて一緒に考えましょう。室内講義と野外実習があります。

○期間：2017 年 4 月 9 日～2018 年 3 月 11 日 (全 14 回)

○日程：(原則日曜日、一部他曜日あり)

○定員：50 名 (18 歳以上)

○受講料：35,000 円 (交通費、宿泊費、野外実習の経費等別途)

○講師：只木良也氏 (自然大学学長、名古屋大学名誉教授) 小川真氏 (大阪工業大学客員教授) 渡辺弘之氏 (京都大学名誉教授) 伊藤孝美氏 (自然大学教文部長) ほか

○申込み方法：郵便または fax でお名前、生年月日、性別、職業、住所、趣味・特技、電話番号、fax 番号を明記のうえお送りください。

○主催・申込み先：NPO 法人自然と緑 (〒537-0025 大阪市東成区中道 3-2-34 tel. 06-6978-5060 fax. 06-6978-5061 e-mail: sizen_mi@osb.att.ne.jp URL: http://home.att.ne.jp/iota/sizen_midori/)

ポンカン
今年もおいしくできました

★甲浦ポンカン (低農薬・動物性有機肥料のみ使用)

【歳暮・贈答用化粧箱入り】

A 2L/3L 5kg 30 個前後 4,000 円

B 2L/3L 3kg 20 〃 2,600 円

C L 5kg 35 〃 3,500 円

【普通箱入り】

D 2L/3L 5kg 30 〃 3,700 円

E 2L/3L 3kg 20 〃 2,300 円

F L 5kg 35 〃 3,200 円

【家庭用】

G 5kg 33 〃 2,600 円

ゆず酢 4 合瓶 2 本入り 4,000 円

※出荷：12 月 10 日～2 月下旬

※送料別途。20 kg まで関西 650 円、関東・甲信越 860 円。

★ご注文は

〒781-7412 高知県安芸郡東洋町大字河内 203 田中農園 田中隆一さん (tel./fax. 0887-29-2500 e-mail: tanakan3@cronos.ocn.ne.jp)

※売り上げの一部を寄付していただいています。ご注文の際は一言「GEN の紹介」と添えてください。